

日本共産党 橋詰 圭一 議員

白子駅周辺の雨水排水対策について

(質問) 白子駅周辺は鈴鹿市の玄関口として開発が進められ、新たな賑わいを取り戻しつつある。しかし、近年の台風およびゲリラ豪雨の大雨に対しては、排水が追いつかず、道路冠水および床下浸水等の浸水被害がたびたび出ている。江島都市下水路と同規模の、大きな都市下水路が必要ではないか。

(答弁) 白子駅周辺については、新生公園雨水貯留池をはじめ、全ての浸水対策施設が100%機能しているにもかかわらず、浸水被害が発生している状況を踏まえ、平成3年に策定した「白子地区浸水対策検討書」の見直し、白子第3排水機場等の老朽施設の更新計画、ならびに当地区において、江島ポンプ場への流入渠のような地下への大きな施設を埋設するなど、さまざまな選択肢を考慮し、浸水対策施設整備計画を策定していく。

その他の質問 ○高齢者の「生活交通」について②

日本共産党 石田 秀三 議員

国民健康保険について

(質問) 市は本年度の国民健康保険税を15%引き上げる案を出していたが、撤回して今年は値上げなしとなった。「被保険者に過度の負担をかけることに重点を置いて」市民の暮らしをこれ以上圧迫しないとの判断をしたことは評価する。

来年度に向けて、市民の暮らしは好転どころ

か、さらに厳しくなっている。来年も国保税引き上げはしてはならない。国保は社会保障制度としての国民皆保険の基本であり、「助け合い」の制度ではない。負担能力のない人々が社会保障から排除されないよう、財政支援をするべきである。

(答弁) 国保財政は非常に厳しい状況にあり、来年度以降の国保税引き上げは避けられない。引き上げに際しては、被保険者の負担感に十分配慮し、適切な額になるよう慎重に検討する。

平明の会 矢野 仁志 議員

教育委員会について

(質問) ①本市が目指す教育。②副教育長制度。③指導主事の強化。④学力向上。⑤教職員の育成。⑥給食費および教材費の未納対策。⑦中学校区をベースとしたブロック制の推進について。

(答弁) ①本市の子どもたちが社会を生き抜くことができる力、子どもたちが安心して学べる学校づくりを新たな教育振興基本計画の中に位置付け、実現できるよう努力する。②現体制を

維持する。③教育現場に対するリーダーシップを発揮できるよう資質向上に努める。④全国学力・学習状況調査の結果を分析し、課題把握に努める。⑤内地留学に限らず各種研修により、資質向上を図ることは重要と考える。⑥現場の負担軽減と滞納額の縮減に向け児童手当から支払える取り組みを開始した。⑦教職員本人の希望があれば、積極的に小中学校の人事交流を図っていききたい。

その他の質問

○本市におけるハラスメント対策について

鈴鹿の風 明石 孝利 議員

企業誘致・進出に向けての民間活力を活かした受け皿づくりへの支援、対応について

(質問) 今、本市には公的な工業団地はない。しかし今日、行政が工業団地を造る、そのような時代でもない。故に開発スピードも速く、企業情報も多く有する民間開発業者に委ね、それに向けての支援策を創設する事が、これからの時代の工業振興施策と思うが、いかがか。また本市の工業振興条例は施行以来30年経つが、対象業種は製

造業と環境事業等であり、これからの地域経済の発展に向け、工場設置奨励金等々の工業振興条例の適用業種の拡大を図るべきと思うが、いかがか。

(答弁) 昨年度実施した「鈴鹿市企業立地動向調査」から、民間開発を誘発する奨励制度の創設や支援対象業種・支援項目等の拡大を前向きに検討し、進めていく。

その他の質問

○夜間小児救急医療への取り組みについて

○伊勢志摩サミットへの対応について

○民間主導による「鈴鹿げんき花火大会」への対応について